

平成30年2月10日
昭和59年卒 中牟田

第16回大学OBマスターズカップの結果について

4大学（九州大学、福岡大学、西南大学、関東大学連合）の50歳以上のOBが集まって団体戦を行いました。九州大学は4年ぶりに優勝しました。

1位 九州大学、2位 西南大学、3位 関東連合、4位 福岡大学



日 時：平成30年2月10日（土）9：00～15：30

場 所：博多の森テニスコート 室内（福岡市）

試合方法：ダブルス6ポイントの団体戦（4チーム対抗リーグ戦）

6ゲーム先取、ノーアドバンテージ

出場資格 50歳以上

6ポイントのうち2ポイントは、ペアの合計年齢が140歳以上

九州大学の出場選手は以下の方々です。（敬称略）

久木田 国広（S43） 園井 浩二（S44） 徳永 和夫（S45） 松島 俊夫（S49）

有賀 俊文（S50） 泥谷 正治（S51） 田中 慎一郎（S51） 後藤 恒一（S54）

堀 達彦（S54） 藤崎 達也（S54） 中牟田 康（S59） 衛藤 陽一（S60）

柳田 晴久（S63 医学部） 竹田 虎彦（S63 医学部）

昨年は僅差の2位でした（昨年のルールは取得ゲーム数が一番多いチームが優勝というものでした。九大は2勝1敗でしたが、1勝2分けの西南大学と比べて、取得ゲーム数が4ゲーム足りなかったので、2位でした）。

今年は大大会レフェリーの久木田先輩がルールを変更して、チームとしての勝利数で順位を決めるという本来の姿に戻して大会を行いました。

今年の九大チームは50歳になりたてのOBの参加が全くなく、昨年出場してくれた関西地区の末吉君、福田君は関西のベテラン大会に出場のため、この大会は不参加でした。このため、医学部テニス部OBの竹田さん、柳田さんに応援していただきました。

他チームには若手OBがたくさんいるので、戦力的には不利かと思いましたが、チーム一丸となって競り合いの試合をものにして、最終的には2勝1敗で優勝しました。

最終試合の西南大学戦では、最後のダブルス（久木田・松島ペア）が勝てば優勝、負ければ西南大学が2年連続の優勝という試合でした。試合は6ゲーム先取ノードの最終ポイント（5-5の40-40）までもつれました。最後の1ポイントを九大が取れば優勝、取られれば2位という緊張するポイントでしたが、久木田・松島ペアは冷静（？）にこのポイントを取って、見事チームを優勝に導きました。

マスターズカップの優勝は実に4年ぶりでした（前回優勝は平成26年の12回大会）。最終試合は全員で久木田・松島ペアを応援するなど、チーム全体の結束力が発揮されたおかげで優勝できたと思います。

	西南大学	九州大学	福岡大学	関東連合	取得ゲーム	順位
西南大学		2-4	3-3	6-0	1勝1敗1分	2
九州大学	4-2		5-1	2-4	2勝1敗	1
福岡大学	3-3	1-5		3-3	1敗2分	4
関東連合	0-6	4-2	3-3		1勝1敗1分	3

次回大会は平成31年2月9日（土）に行われます。若手のOBのたくさんの参加をお待ちしています。

	九州大学	5-1	福岡大学	
D1	園井・徳永	6-5	大野（悦）・原田	（140歳以上）
D2	久木田・松島	6-5	大野（周）・百合野	（140歳以上）
D3	有賀・中牟田	6-0	橋本・篠原	
D4	堀・柳田	2-6	紀伊・吉村	
D5	泥谷・田中	6-4	安永・長久	
D6	後藤・藤崎	6-0	城戸・伊藤	

九州大学 2-4 関東連合

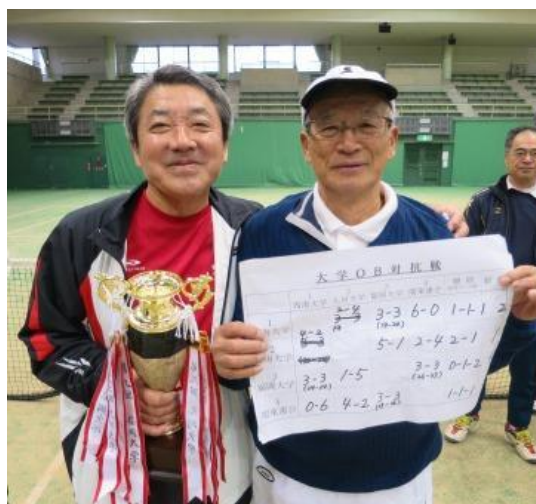
- D1 園井・徳永 6-1 中牟田・浅野 (140歳以上)
- D2 久木田・松島 5-6 久我・杉村 (140歳以上)
- D3 有賀・中牟田 2-6 小路・中野
- D4 堀・柳田 1-6 岩原・田畑
- D5 泥谷・田中 4-6 賀来・田中
- D6 後藤・藤崎 6-4 市岡・高橋

九州大学 4-2 西南大学

- D1 園井・徳永 6-0 浅田・井上 (140歳以上)
- D2 久木田・松島 6-5 山本・緒方 (140歳以上)
- D3 衛藤・中牟田 3-6 徳永・矢野
- D4 有賀・竹田 3-6 松岡・許斐
- D5 泥谷・藤崎 6-5 平・原
- D6 後藤・堀 6-2 森山・池田



表彰式では松島さんが優勝カップを受け取りました



最終試合で優勝を決めた松島・久木田ペア